



お子さんの 予防接種

お忘れではないですか？



乳児のころには定期接種が必要なワクチンが多く、計画的に接種することができますが、成長とともに数が減り接種期間があくと、予防接種を忘れてしまいがちになります。



特に忘れやすいのが、第一期から数年後に接種するワクチンです。母子健康手帳の記録をご覧ください、接種を忘れていないワクチンがないか確認しましょう。予防接種で免疫をつけ、病気を予防しましょう。

接種を忘れがちな予防接種

麻しん風疹混合 (MR) ワクチン

- 対象者：令和7年度年長児
- 接種期間：令和8年3月31日まで

麻しんとは

発熱・咳・鼻水・目ヤニ・発疹等が主な症状で肺炎・中耳炎・脳炎などの合併症が起こることも。感染力が高く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%症状が発生します。

風しんとは

発疹・発熱・首の周りや耳の後ろのリンパ節の腫れ等が主な症状です。合併症として血小板の減少性紫斑・脳炎などの合併症が起こることもあります。

二種混合 (ジフテリア・破傷風) ワクチン

- 対象者：11歳以上13歳未満
- 接種期間：13歳の誕生日前日まで

ジフテリアとは

発熱・のどの痛み等で始まり、のどに白い膜が出来たり、首のリンパ節が腫れたりします。菌が出す毒素が心筋炎や神経麻痺を起こし重症化することもある病気です。

破傷風とは

傷口等から菌が身体に入り込むことにより感染します。口が開きづらい、顎が固くなる等の症状から始まり、最後には全身の筋肉が固くなり、息ができず、死に至ることもある病気です。

日本脳炎ワクチン

- 対象者：9歳以上13歳未満
- 接種期間：13歳の誕生日前日まで

日本脳炎とは

ヒトから直接ではなくブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。7～10日の潜伏期間のあと、高熱、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になることがあります。